

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	ETV 術後の開窓部位 flow 測定経験についての検討
研究責任者	小児脳神経外科 仲村友博
研究実施体制	聖隷浜松病院でのデータを使用する: 単一施設、非盲検、後方視的研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2026 年 3 月 31 日
対象者	【対象患者】2015 年 4 月から 2025 年 3 月までの間に当院で ETV(第三脳室底開窓術)を施行した患者さん 【予定症例数】10 例 【症例数の設定根拠】当院で対象患者となる見込み症例数を設定した。
研究の意義・目的	第 3 脳室底開窓術(Endoscopic third ventriculostomy, ETV)の術後に開窓部(stoma)の開存性を確認する目的で CINE MRI が用いることがあります。CINE MRI で開窓されていることは視認できますが、定量的な評価をするためには、開窓部位の流速を測定し、flow を確認することが一つの選択肢と考えられます。その有効性と臨床での課題について検討します。
研究の方法	【研究のデザイン】後向き観察研究 【方法】対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 年齢、性別、手術時間、開窓部位の流速および流量、術後経過 【評価・解析方法】必要に応じて EZR を用いた統計解析
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 小児脳神経外科 (氏名)小児脳神経外科 仲村友博 TEL: 053-474-2222(代表) 脳神経外科外来 9:00~17:00 平日